

FINE FINET

[Finet Feature Articles]

ファイネットの 25年を振り返って

日本水産株式会社
代表取締役 副社長執行役員
佐藤 泰久 様

株式会社ファイネット
元代表取締役専務取締役
大野 義也 様

株式会社日立フーズ&ロジスティクスシステムズ
取締役副社長
高橋 勇 様

[Finet Information]

GTIN-EDIのより一層の普及を目指して
～3種類のガイドブック完成!～

FINET流通VANサービスの拡充
～FAX変換サービス(出荷案内書)を開始～

ファイネットの25年を振り返って

株式会社ファイネットは、1986年（昭和61年）4月に冷凍食品メーカーを中心とする8社により、食品業界VANを提供する会社としてスタートしました。翌年、加工食品メーカー5社が参画し、13社体制となり、出向社員が一丸で「共有情報インフラ」の普及活動を行いました。2002年（平成14年）には「酒類VAN（SJK）」の統合と「FDB（ファイネット商品情報データベース）」の提供を開始し、酒類・加工食品業界における情報インフラの提供体制を整えました。

創業以来25年で参加企業はメーカー約1,200社、卸店約600社に及んでいます。今号では25周年特集を組み、創業期から成長期のファイネットに深く関わった方々に当時を振り返っていただくと共に、今後のさらなる飛躍と発展を遂げるための助言をいただきました。

【出席者】左より

日本水産株式会社 代表取締役 副社長執行役員 佐藤 泰久 様（平成元年度～3年度、平成6年度～15年度 監査役）

大野 義也 様（平成9年度～13年度 代表取締役専務取締役）

株式会社日立フーズ&ロジスティクスシステムズ
取締役副社長

高橋 勇 様（平成10年度～13年度 監査役）

【司会】株式会社ファイネット 常務取締役 藤田 弘和



在職当時のエピソード

——25年前の創業当時はデータ件数も数十万件で大変少なく苦しい時期でしたが、5年目には単年度黒字、10年目には累損がほぼ解消でき、ユーザー様への値下げ（料金改定）も3回実施しています。当時を振り返って、エピソードはありますか。

佐藤 銀行がお金を貸してくれないというのはありませんでしたが、赤字だったことは確かです。累損を消すために、特に株主各社に対する営業攻勢をすごくやっていたのが印象的でした。

高橋 ファイネットに出向していた人たちから話を聞いて

てみると、やはり営業は大変だったと言っていました。ここはA社さんが強い、あそこはB社さんが強いなど各社それぞれ卸店さんの得意分野があります。それから星取表みたいなのがあって、会議で「じゃあここはB社さん行けるよね」とか言って拡大していった時期ですね。

大野 各地域でそういった情報交換をして卸店ごとに一番影響の強いメーカーさんの出向営業マンが行きましたね。

高橋 当初は卸店の受発注と出荷案内、そして販売実績が



高橋 勇 様

メインターゲットというような感じでした。やはり、販売実績はメーカーにとって大変重要なマーケティング情報でしたね。

大野 振り返ってみると楽しかったことよりも苦しかったことのほうが先ですね。赴任したのはJR田町駅近くのビルの狭い事務所で、男子10名、女子2名の計12名で皆の話し声が全部聞えるようなところでした。最初にまず感じたのは企業風土が異なる若手中心の出向軍団をどうまとめていこうかなということでした。また、それまで苦労された初代専務の伊達さんをはじめ先輩方のご苦労をお聞きし、二代目専務として、まず加入企業を増やす、また赤字を消すことが第一と考え、年2回地域へ、営業やシステム担当者と同行して開拓営業をやりました。その後、メーカーさんの支店担当者会議、講演会の実施、合宿、業界紙等へのPRなどを全員参画で頑張り、全体の連帯感が出てきました。その時のユーザー数約320社、4~5年で倍以上の約800社を目標にして、全員でそれを達成できたことがうれしかった。いずれにしても、出資メーカーさんのトップの方々、特に当該期間の稲森社長、垣添社長、金田相談役の大変なバックアップをいただいたことが大きかったと考えております。私自身も良い経験をさせていただき、感謝しております。——この時代、企業風土が全然違う会社の人たちが集まって、同じ方向にベクトルを向けて営業しなければいけないというのは相当苦労があったのではないかと思います。大野 直接現場に行って試行錯誤する中で、システムも営業も目的意識がはっきりしてきました。あとは、「ユ

ーザー会」を私の時代に東京、大阪で始めました。一体感や思いがより強く出てきており、場合によってはファイネットの風土ができたかなというのは「2000年問題」の取組みであり、それを乗り切った時です。徹夜もしました。この問題での危機管理や価格改定問題を含め、インテックの中尾社長をはじめ担当の皆さんの大いなる協力、支援をいただきました。



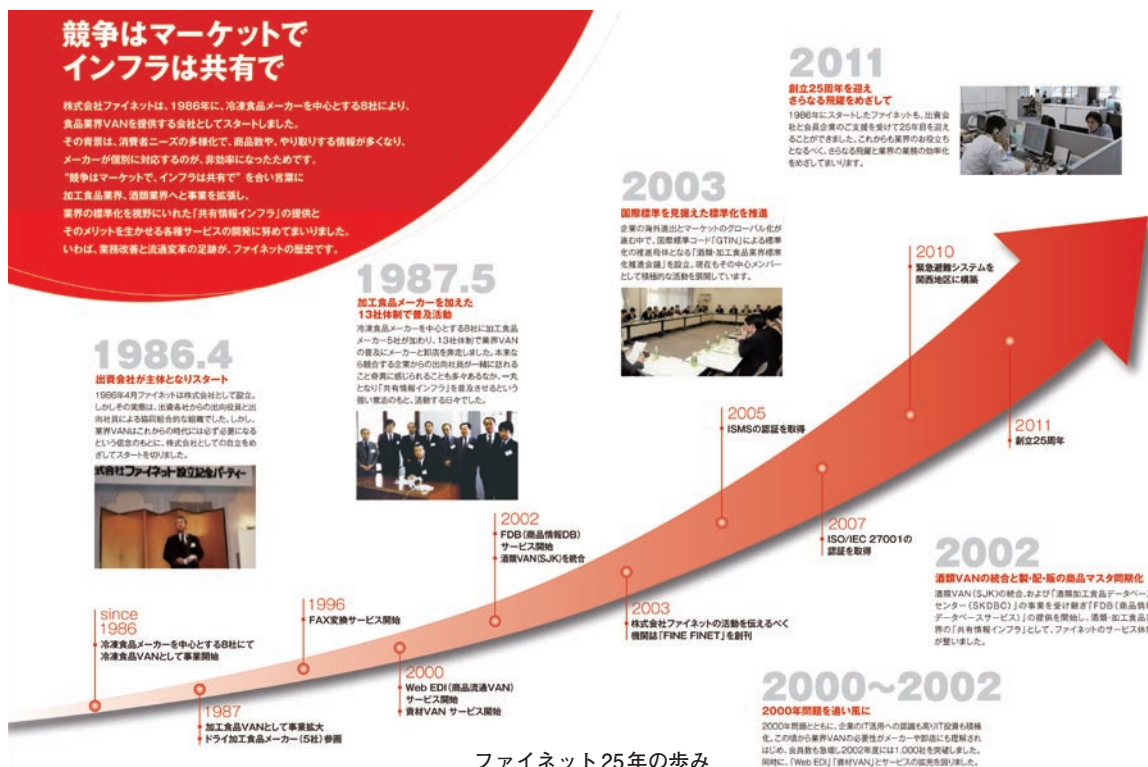
大野 義也 様

——そういう苦労があって今日のファイネットがあるということですね。

大野 節目での社長会での業績報告等の時に近々、「配当」や「上場」とのご意見もありましたが、「配当」より「値下げ」のほうがメーカーさんにとって、コストダウンとしてのメリットが大きく、実質プラス、また得意先の拡大につながると考え、了解をえて、大小3回の値下げを実施しました。

佐藤 上場は私も反対しました。上場して縛られたら動きが取れません。値下げ（価格改定）のほうが優先です。

高橋 2000年以降、価格改定・〈WEB EDI〉等の商品追加・酒類関係VANの取り込みにより、加入企業数が急激に増えたと思います。今も順調に伸びていますが、新たな商品は何にするかを一生懸命考えないと停滞しますね。またメーカー主体VANから大手卸店さんが入っ



ファイネット 25年の歩み



佐藤 泰久 様

てきており、運営からすると相反する部分も少なからずあるのではないかと考えております。

佐藤 そういう意味では、メーカーのためのVAN会社ではダメなのではないでしょうか。ファイネットとして今後どう生きるか、メーカーも卸店も量販店も関係なく、自分

たちが生きる道はここだという発想で、どうアプローチするかだと思います。メーカーだけを見ていたら伸びないと思います。

大野 新しいニーズに対する取り組み、開発に関して最近は何年どのくらい投資をしているんですか。

——ここ2、3年は内部のシステム改修や、ユーザー様の「安心・安全」優先で災害時対応の緊急避難システムを大阪に作りました。これらにそれぞれ1億円程度投資しました。

新サービス導入で急成長

——大きな転換点として2002年の酒類VANの取り込みやFDB（ファイネット商品情報データベース）の新サービス開始があります。当時の状況を教えてください。

佐藤 メーカー側のニーズで始めました。メーカーとして統一のデータベースがあったほうが良いということです。当時、SKDBC（酒類加工食品データセンター）は酒類や加工食品の主要メーカーと卸店が、流通コストの削減を目的に商品情報データベースを整備していました。しかし、普及推進が充分でなく実際の活用が大きな課題でした。「ファイネットさんがやってくれたらいいね」というのがメーカーからのお願いでした。どのような形でSKDBCの事業を継承するかですごく採りましたが、メーカーと卸に貢献するためには儲からないかもしれないけど良かったと思います。今あまり伸びていないのは、要望が年と共に、卸別、業態別に違うので、それを統一するのが非常に難しいという点が挙げられます。もう一つはメーカー側が標準的なデータベースをあまり整備されていないのがあります。

——FDBに関しては、今後の拡大を考えると料金体系の見直しも必要です。

佐藤 加入を躊躇している中小メーカー対策が必要かもしれませんね。

高橋 競争相手も多いのが現状です。商品流通VANは

ファイネットが主流になりましたが、商品データベースは予断を許しません。ただ、ルール化を推進できる立場にあるのはファイネットでありキングマスターである事は事実です。

佐藤 主導権を持つ企業は、業界に対して大きなリスクを持っています。ファイネットが垣添社長の時代、大野さんを代表取締役の専務にしました。当時、業界の主流になりつつあったので、社外の人のリスクを外して現場の責任は代表取締役が取って下さいということで大野さんをお願いしました。今、これだけ大きくなると業界に限らず様々なところに責任を持たされています。今後、ファイネットが企業として成長、発展するためにもCOO（最高執行責任者）をはっきりさせるべき時ではないでしょうか。そのためには、現場の責任者がCOOとして代表取締役社長になり、CEO（最高経営責任者）の会長を社外が担う体制ではいかがですか。

OBからのメッセージ

——OBとして今後のファイネットに期待することを教えてください。

佐藤 立ち上げの時、各社が出した出向社員は必ずしも超エリートではありませんでした。伊達さんと大野さんは、その営業マンたちを鍛えてよくチームとしてまとめたなと思います。今出向している人たちも皆さん育って帰って欲しいですね。

高橋 大野さんがおっしゃる通り、投資して新しい商品を開発していかないとプロパーをいくら入れても会社が停滞したらやる気が起きません。そういった意味で後方からのバックアップや新しい事業をニーズを取り入れて開発推進して行ってほしいと思います。

大野 ファイネットでは、特に若い人たちは普段経験しないようなことも経験できます。切磋琢磨して、これを糧にして足跡を残してほしいです。私は営業の時に「成果実績は笑顔の源」という言葉を使っていました。成果実績が上がれば全体の組織が活性化します。会社はこんなに伸びていてこれで良いんだというところから衰退が始まるとよく言います。今一度、食品産業、流通業界等の変化、ユーザーの経営戦略（利益、コスト削減等）の動き、新しいニーズなどを少しでも先取りし、25周年を機に、さらなる発展のため、事業全体を見つめ直してはいかがでしょう。

——貴重なご意見や創業当時のお話をいただき大変参考になりました。今後ともファイネットの良きアドバイザーとして、ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

ファイネット創業25周年に寄せて

ファイネット設立時に18年間F研の座長を務め、酒類・加工食品業界の共通情報インフラ構築に深く尽力された東京海洋大学・川島教授にご寄稿いただきました。

国立大学法人東京海洋大学
大学院海洋科学技術研究科

特任教授 **川島 孝夫** 様



ファイネット創業25周年おめでとうございます。今や食品流通業界で業界インフラとなったことにはご同慶の至りです。ファイネット創立期に、酒類・加工食品メーカー企業間標準システム研究会（通称F研。18年間座長を務めた）として関与した関係から業界標準とその運営管理の重要性について述べ、ファイネットが果たしてきた業界インフラとしての功績について言及したい。

1983年日本チェーンストア協会（通称JCA）が、EDIを各業界団体に提案した。これを受け、味の素、ハウス食品、AGFが呼びかけ人となり、流通システム開発センター（当時、故浅野常務理事）内に酒類・加工食品メーカーの企業間EDIを研究するF研を設立してもらった。当時、システムは企業機密であり共同研究・活用するものでないとの考え方が支配的であったが、JCAからの提案が企業間システム共同研究の機運を惹起せしめた。F研（発足当初は14社）では、日本加工食品卸協会（通称日食協）とEDI委員会を設立し、日食協とF研での企業間EDI実施のための共同作業分科会で「受発注フォーマット」「出荷案内フォーマット」「販売実績フォーマット」「商品案内フォーマット」の作成から始めた。この結果纏められたものが、日食協「酒類食品業界卸店メーカー企業間標準システム」マニュアル初版（現在は第3版）である。

このマニュアルに基づいて、卸4社（菱食、松下鈴木、ボーキ佐藤、ヤマエ久野）とメーカー4社（キリン、キッコーマン、ハウス食品、AGF）で1986年先行活用を行った。そして、この成果を各地日食協支部総会でEDI説明会を開催してもらい、EDIの目的・必要性等の解説を行い、EDI導入普及活動を積極的に実施した。この過程で、通信手順（JCA手順）のスピードやフォーマットの使用方法等技術的問題が数多く発生したが、何よりも最大の問題は卸とメーカーが直接EDIを実施することから惹起された運営管理の問題であった。当時、卸およびメーカーでは、分散システム・バッチ処理であり、今日のようにオンライン・集中型でリアル処理とは程遠かったのである。このため、EDI運営管理は各社内ですら統一性に欠けていたのである。

EDI実施企業では、EDI日常運営管理およびネットワーク管理の一元統合管理が緊要のシステム課題となった。個別対応では機能不全になる危険性を抱くに至っていた。そんな中、冷凍食品業界でのファイネット機能は、個別対応では果たせなかったEDI運営管理標準化と共通ネットワーク活用が具現化されたのである。酒類加工食品業界がファイネットに移行していくのは時代の必然であったと思われる。

ファイネットが単なるスイッチング機能に留まらずEDI運営管理の標準化に尽力されたことが、今日の業界インフラとしての不動の地位を確立されたものと評価しております。今後は、国内インフラに留まらずグローバル化への対応も期待しています。

GTIN-EDIのより一層の普及を目指して

～3種類のガイドブック完成！～

ファイネットが推進する「酒類・加工食品標準化推進会議・GTIN-EDI普及検討部会」では、参加企業のGTINコードによるEDI化の実現と、幅広い普及活動に向けた合意形成を推進するために、2010年7月より3つの分科会を立ち上げ活動を進めてきました。

今般3種の成果物が完成しました。

今後GTIN-EDIの普及促進のツールとして活用されることが期待されます。

【GTIN-EDI普及検討部会】

参加企業 メーカー（9社）

アサヒビール、味の素、カルピス、月桂冠、サントリービジネスエキスパート、CAC マルハニチロシステムズ、ニチレイフーズ、日本水産、ハウスビジネスパートナーズ

卸（7社）

伊藤忠食品、加藤産業、国分、トーカン、三井食品、三菱食品（旧・菱食）、明治屋商事

成果物

「酒類・加工食品業界 GTIN-EDIの
普及に向けて」

酒類・加工食品業界を中心に、個々の企業がGTINコードによるEDI化を実現させるために必要な社内説明資料

「酒類・加工食品業界 GTIN-EDI
導入ガイドライン」

すでにGTINコードによるEDI化を開始した個々の企業ノウハウを共有し、これから対応する企業がスムーズに開始できるための導入ガイド資料

「酒類・加工食品業界における
GTINを利用した
EDI運用ガイドライン 第2版」

酒類・加工食品業界が、GTINコードによるEDI化を開始するにあたって拠り所としている既存ガイドラインの内容を精査し、第2版として各社がその対応に取り組む上でさらに参考となるよう記載内容の充実を図った。

各資料の入手方法

以下のホームページにアクセスし、ダウンロードの上ご活用下さい。

※掲載予定 2011年8月10日（水）

◆株式会社ファイネット URL：<http://www.finet.co.jp/>

◆社団法人日本加工食品卸協会 URL：<http://homepage3.nifty.com/nsk-nhk/>

FINET 流通VANサービスの拡充

～FAX変換サービス（出荷案内書）を開始～

本サービスにより、利用メーカー側および卸側のメリットを実現いたします。

【利用メーカーのメリット】

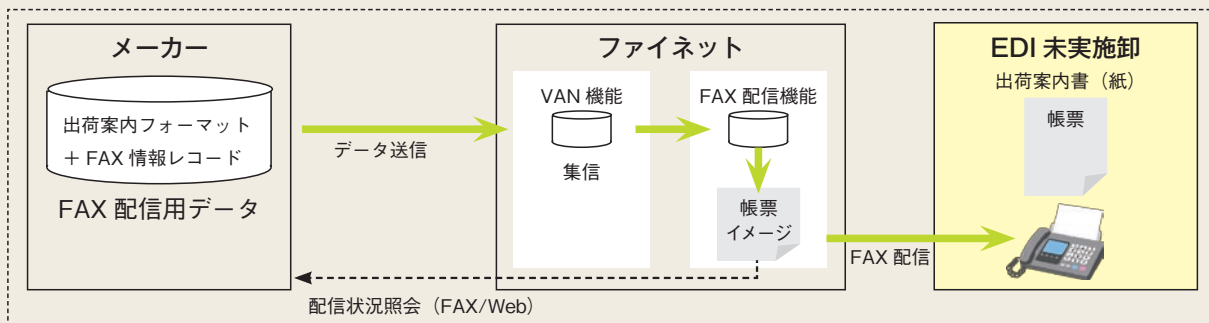
- ・ 出荷案内発信における100%データ化の実現（日食協フォーマット出荷案内データ準拠）
- ・ 業務負荷/コスト削減

【卸（FAX受信）のメリット】

- ・ 出荷案内書書式の共通化
- ・ 到着タイミングの早期化

■サービス内容

メーカーからの出荷案内データを、ファイネットにてFAXイメージ（出荷案内書）に変換し、相手先卸にFAX配信いたします。



■サービス料金

出力帳票1枚当たり@16円（A4）1枚2伝票形式

■サービス開始

2011年4月1日～

■「お問い合わせ」ならびに「加入手続き資料請求」は、以下のURLでご確認ください。

<https://www.finet.co.jp/application/appli01.html>

安定した運用、安全でより高速な「全銀TCP/IP」への完全移行を推進中！

◆ JCA・全銀BSC手順で必要となる機器（モデム等）の製造・保守停止

インターネットの
急速な普及

高速・大容量
回線の普及

旧来の低速な専用モデムは
新たな需要がなくなった

2011年4月より
「ネットワーク利用料」を廃止

◆ JCA・全銀BSC手順は2012年3月末をもって廃止予定

[Finet Event] ファイネット・イベント

2011年度ファイネットユーザー会を開催いたします

東日本大震災の影響を鑑み、開催を延期いたしておりました今年度のファイネットユーザー会を大阪会場（10月11日）、東京会場（10月17日）にて開催いたします。

当会はファイネットの取り組み内容のご紹介とともに

に、ユーザー様間の御交誼を深めていただく目的で、毎年開催しております。

詳細は追ってご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

（営業推進部）

2011年度も「緊急避難システム」接続訓練を実施！

業界共有インフラとして、首都圏における大規模災害に備え10月に商流VAN「緊急避難システム」への接続訓練を実施いたします。

昨年度は、約100社のユーザー様にご参加していた

いただきました。本年度もより多くのユーザー様にご参加いただけるよう準備しています。

詳細は、別途ご案内申し上げます。多くのお申し込みをお待ちしております。

（運用管理部）

[Finet Announcement] ファイネット・アナウンスメント

東日本大震災被災地に対する義援金について

このたびの東日本大震災につきまして被害にあわれた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

当社は、東日本大震災の被災地復興・救援のため、

日本赤十字社を通じて、500万円の寄付を実施いたしました。

被災地の一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

夏期休業日のお知らせ

弊社では、政府より求められている消費電力の削減に対応するため、下記の期間について、事務所を閉鎖し夏期休業日とすることといたしました。ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

なお、ヘルプデスクは通常通り稼働しておりますので、お問い合わせの際は、ご利用ください。

【夏期休業日】

平成23年8月8日（月）

平成23年8月12日（金）

平成23年8月15日（月）

平成23年8月16日（火）

【ヘルプデスクお問合せ先】

商品流通VANおよび資材VAN 0120-091-094

編集後記

猛暑日が続く中、皆様いかがお過ごしでしょうか。小生は、熱中症を気にしながらも猛暑を「天気予報」、節電を「でんき予報」で予想しながら、エアコンのリモコン片手に思案する毎日です。

お蔭様でファイネットは今年4月で25周年を迎え、改めてこの25年を振り返り特集号を組みました。創業からの苦労話やエピソードを交えたOBの方々の対談を巻頭に掲載しております。皆様の忌憚のないご意見をお待ちしております。(F)



FINE FINET (ファイン・ファイネット)

Vol.21 2011 Summer 2011年8月1日発行

[発行] (株) ファイネット 東京都中央区日本橋兜町13-2 偕成ビル(本館)7F 〒103-0026
Tel.03-5643-3400 Fax.03-5643-3499 [編集・発行責任者] 仲小路 啓之



<http://www.finet.co.jp>